科目名	PA実習Ⅳ			担当講師	福岡　博美
講師実務経験	音響/録音エンジニア				
対象学年	2　学年	対象コース	サウンド・ステージコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	後期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	270　分
期	修　得　目　標				
後期	音響　照明　イベンター　3科合同のイベント実習				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月20日	授業の概要説明、チーム分け、チーム打ち合わせなど
2	10月27日	チーム打ち合わせ、イベントプランニング
3	11月10日	イベント内容の打合せ、内容の確定
4	11月17日	仕込み図、回線表など、資料作成、必要品のリストアップ
5	12月1日	技術復習、作業確認、必要な音源等の準備
6	12月8日	技術復習、作業担当者を確定
7	12月15日	イベント①　場当たり　各部署の動き等を確認
8	12月22日	イベント②　場当たり　各部署の動き等を確認
9	1月19日	イベント①　リハーサル
10	1月26日	イベント②　リハーサル
11	2月2日	イベント①　本番
12	2月9日	イベント②　本番
13	2月16日	イベント反省会 定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	なし
注意事項	78時間中　27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	舞台技術概論			担当講師	千葉　諭
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	サウンド・ステージコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	音響以外の舞台の関する技術や、安全管理についての知識を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	積み込み、ラッシング、屋外での養生、架空処理について
2	10月21日	舞台の歴史について
3	10月28日	舞台公演に関する様々な技術や、役割分担について
4	11月4日	舞台機構、床機構、舞台装置について
5	11月11日	舞台機構、吊物機構、力学、滑車について　質量と重量の違い
6	11月18日	舞台美術、大道具、小道具について
7	11月25日	電気について、基礎知識の復讐
8	12月2日	舞台照明、一般照明、ムービングなどの様々な照明器具について
9	12月16日	舞台映像、LEDを使った映像装置について
10	1月20日	劇場や現場での安全対策、関連する法律について
11	1月27日	舞台に関する資格①
12	2月3日	舞台に関する資格②
13	2月10日	舞台音響についての総復讐
14	2月17日	用語について
15	2月24日	定期試験対策

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	参考資料の配布
注意事項	45時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	照明			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	舞台照明の基本について修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	授業ガイダンス、電源ブレーカー・ユニット・サス及びケーブルについて
2	10月21日	回路（フロア・サス）・照明機材及び吊仕込①について
3	10月28日	BACK仕込・シュートについて
4	11月4日	地明かり・ブッチ仕込・シュートについて
5	11月11日	シーリング・SS仕込・シュートについて
6	11月18日	フロア仕込・シュート、PINについて
7	11月25日	仕込手順・照明卓操作について
8	12月2日	仕込①（BACK・ブッチ）1班、（シーリング・フロア）2班
9	12月16日	仕込②（BACK・ブッチ）2班、（シーリング・フロア）1班
10	1月20日	吊仕込・シュート①（実技試験）
11	1月27日	吊仕込・シュート②（実技試験）
12	2月3日	音楽に合わせてオペレートを行う①
13	2月10日	音楽に合わせてオペレートを行う②
14	2月17日	音楽に合わせてオペレートを行う③
15	2月24日	筆記試験対策

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50％）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	45時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA			担当講師	久本晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	PAの機材、仕事内容を理解し基本的な取り扱いや簡易PAシステムの設置＆ハウス・モニターオペレートを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明
2	10月21日	マイクスタンド立て方、ケーブル結線の仕方、ケーブル巻き
3	10月28日	PAコンソール（卓）、モニター仕込み図説明
4	11月4日	仕込み図を見ての仕込み作業
5	11月11日	仕込み図を見ての仕込み作業
6	11月18日	仕込み作業試験
7	11月25日	モニタースピーカー、AUX等の説明
8	12月2日	エフェクター、AUX等の説明
9	12月16日	オペレート試験内容説明（舞台機構調整技能検定実技試験内容）
10	1月20日	オペレート試験練習
11	1月27日	オペレート試験練習
12	2月3日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習
13	2月10日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習
14	2月17日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験
15	2月24日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験、後期試験対策他

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50％）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	45時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	動画制作			担当講師	髙橋　学
講師実務経験	角川映画勤務、マメゾウピクチャーズ代表、clapfilm LLP代表、ゆうばり国際映画祭理事、ゆうばりフィルムコミッション代表、あ・り一さだ理事、ケセランパセラン事務所代表				
対象学年	2　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	動画制作・製作を通して、映像全般の知識と技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	授業ガイダンス。映像の知識①。
2	10月21日	映像の知識②。プリプロダクション①。
3	10月28日	映像の知識③。プリプロダクション②。
4	11月4日	映像の知識④。プリプロダクション③。
5	11月11日	機材選び。テスト撮影。
6	11月18日	ロケハン。リハーサル。
7	11月25日	撮影実習①。
8	12月2日	撮影実習②。
9	12月16日	撮影実習③。
10	1月20日	編集①。基本的な編集の知識。
11	1月27日	編集②。荒編までの知識。
12	2月3日	編集③。BGM、効果音の入れ方。
13	2月10日	編集④。仕上げ。
14	2月17日	編集⑤。予告編作成。
15	2月24日	試写、まとめ。

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50％）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にてプリント配布
注意事項	45時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	REC			担当講師	金沢　琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	レーディングスタジオの基本を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	スタジオシステム①:マイク・機材について学ぶ
2	10月21日	スタジオシステム②:コントロールルーム・ブースについて学ぶ
3	10月28日	スタジオシステム③:SSLとProToolsについて学ぶ
4	11月4日	録音実習①:ドラムのマイクセッテイング練習1
5	11月11日	録音実習②:ドラムのマイクセッテイング練習2
6	11月18日	録音実習③:エレキギターのマイクセッテイング
7	11月25日	録音実習④:ベースのマイクセッテイング
8	12月2日	ミックス実習①:デモ音源を使い、ミックス練習
9	12月16日	ミックス実習②:デモ音源を使い、ミックス練習
10	1月20日	ミックス実習③:デモ音源を使い、ミックス練習
11	1月27日	ミックス実習④:デモ音源を使い、ミックス練習
12	2月3日	録音実践:バンドレコーディング4ピース
13	2月10日	録音実践:録音した音源でミックス作業
14	2月17日	録音実践:録音した音源でミックス作業
15	2月24日	録音実践:録音した音源でミックス作業

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)
	成績評価方法:B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	45時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	カラーコーディネート			担当講師	木村　真祐美
講師実務経験	カラーコーディネーター、カラーセラピスト				
対象学年	2　学年	対象コース	選択者	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	色の持つ効果を知り、色に関する感性を磨き、仕事に役立つ実践的な色彩知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	授業ガイダンス
2	10月21日	色の働きと色の見える仕組みについて
3	10月28日	色彩基礎知識について
4	11月4日	色の感情作用、知覚効果について
5	11月11日	色とイメージの関係について①
6	11月18日	色とイメージの関係について②
7	11月25日	色とイメージの関係について③
8	12月2日	パーソナルカラー（似合う色）について①
9	12月16日	パーソナルカラー（似合う色）について②
10	1月20日	カラーセラピー（色彩心理）について①
11	1月27日	カラーセラピー（色彩心理）について②
12	2月3日	色彩調和（配色技法）について
13	2月10日	色と五感の関係について
14	2月17日	ビジュアルデザインと色彩の関係について
15	2月24日	定期試験対策

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50％）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	45時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	機材メンテナンスⅡ			担当講師	米谷　仁
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	サウンド・ステージコース/総合コース	授業形態	演習
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	実践的な音響機材メンテナンス技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月15日	授業ガイダンス
2	10月22日	各種ケーブル作成とメンテナンス方法の復習①
3	10月29日	各種ケーブル作成とメンテナンス方法の復習②
4	11月5日	各種ケーブル作成とメンテナンス方法の復習③
5	11月12日	音響機器のメンテナンス実践①（ケーブル作成、修理）
6	11月19日	音響機器のメンテナンス実践②（ケーブル作成、修理）
7	11月26日	音響機器のメンテナンス実践③（ケーブル作成、修理）
8	12月3日	音響機器のメンテナンス実践④（コンソール、アンプのクリーニング）
9	12月17日	音響機器のメンテナンス実践⑤（KISSホール）
10	1月14日	音響機器のメンテナンス実践⑥（4Fホール）
11	1月21日	音響機器のメンテナンス実践⑦（Mst）
12	1月28日	音響機器のメンテナンス実践⑧（総合）
13	2月4日	実技修得度の確認①
14	2月18日	実技修得度の確認②
15	2月25日	定期試験対策

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	45時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音響ビジネス			担当講師	千葉　諭
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	サウンド・ステージコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
後期	仕事の発生から、終了後の社内業務、技術以外の業務知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月15日	授業ガイダンス
2	10月22日	基本的なビジネス用語について
3	10月29日	仕事の発生、会社と会社の関係について
4	11月5日	接客、電話応対、名刺交換、メール、FAXについて
5	11月12日	受注と社内連絡について
6	11月19日	社内資料の記入や、現場資料の作成について
7	11月26日	打ち合わせ資料について
8	12月3日	見積書の作成について
9	12月17日	受注シュミレーション①　受注、打合せ、見積、商談
10	1月14日	受注シュミレーション②　受注、打合せ、見積、商談
11	1月21日	現場終了後の事務作業について
12	1月28日	売り上げと、定期的な集計について
13	2月4日	機材管理について
14	2月18日	機材購入、販売仕入れ、外部レンタルについて
15	2月25日	定期試験対策

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	参考資料の配布
注意事項	45時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音楽研究			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	サウンド・ステージコース /総合コース	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	様々な音楽ジャンルについて知識を習得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月16日	授業ガイダンス
2	10月23日	ブルースについて
3	10月30日	ジャズについて
4	11月6日	R＆Bについて
5	11月13日	ロックンロールについて
6	11月20日	ソウルについて
7	11月27日	リバプールサウンドについて
8	12月4日	フォークロックについて
9	1月15日	ハードロックについて
10	1月22日	プログレッシブ・ロックについて
11	1月29日	パンクについて
12	2月5日	レゲエについて
13	2月12日	ヘヴィメタルについて
14	2月19日	フージョンについて
15	2月26日	筆記試験対策

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	15時間中　6時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	著作権論			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	サウンド・ステージコース /総合コース	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
前期	著作権収入及び著作権法についての知識を習得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月16日	授業ガイダンス
2	10月23日	著作権及び音楽CDに関わる人について
3	10月30日	音楽業界の代表的な職種について
4	11月6日	レコード会社とレーベルについて
5	11月13日	音楽業界の仕組み及び音楽CDが店頭に並ぶまでについて
6	11月20日	アーティストの発掘及びCDが出来るまでの詳細について
7	11月27日	アーティスト活動の種類及び著作隣接権について
8	12月4日	著作権と知的財産権及び音楽出版社について
9	1月15日	初回から前回までの復習
10	1月22日	著作権用語及び著作権問題（コピー・ネット・その他）について
11	1月29日	アーティストの著作権収入計算の仕方について①
12	2月5日	アーティストの著作権収入計算の仕方について②
13	2月12日	著作権収入小テスト①
14	2月19日	著作権収入小テスト②
15	2月26日	定期試験対策

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	30時間中　11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音響概論Ⅲ			担当講師	千葉諭
講師実務経験	音響/録音エンジニア				
対象学年	2　学年	対象コース	サウンド・ステージコース /総合コース	授業形態	演習
期　間	後期	総授業回数	15　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	音響プランニングシステムや回線のプランニング及び、オペレートプラン技術を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月16日	授業オリエンテーション　/　様々なジャンルの楽曲を聴く
2	10月23日	回線表の作成練習①
3	10月30日	図面作成に向けた基本操作
4	11月6日	回線表の作成練習②
5	11月13日	楽曲の分析①　曲構成を考える～歌詞カードへの書き込み練習
6	11月20日	楽曲の分析②　楽曲を構成する各楽器の役割について考える
7	11月27日	楽曲の分析③　各場面における聴かせどころを考える～歌詞カードへの書き込み練習
8	12月4日	楽曲の分析④　音域的分布について（イコライジング）
9	1月15日	楽曲の分析⑤　時間軸の整理について（ダイナミクスエフェクト）
10	1月22日	オペレートに向けた実践的分析練習①
11	1月29日	オペレートに向けた実践的分析練習②
12	2月5日	トータルミキシングバランスについて考える①（BGM、ナレーション含む）
13	2月12日	トータルミキシングバランスについて考える②（BGM、ナレーション含む）
14	2月19日	トータルミキシングバランスについて考える③（BGM、ナレーション含む）
15	2月26日	定期試験対策

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A

科目名	時事研究			担当講師	明道　厚志
講師実務経験	放送番組制作プロダクション　ディレクター、プロデューサー　歴40年				
対象学年	2　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンド・ステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
後期	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月17日	授業ガイダンス
2	10月24日	直近のニュースについて①
3	10月31日	直近のニュースについて②
4	11月7日	直近のニュースについて③
5	11月14日	直近のニュースについて④
6	11月21日	直近のニュースについて⑤
7	11月28日	直近のニュースについて⑥
8	12月5日	直近のニュースについて⑦
9	1月16日	直近のニュースについて⑧
10	1月23日	直近のニュースについて⑨
11	1月30日	直近のニュースについて⑩
12	2月6日	直近のニュースについて⑪
13	2月13日	直近のニュースについて⑫
14	2月20日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にて配布
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	一般教養			担当講師	岡部 祥子
講師実務経験	損害保険会社社員からフリーアナウンサーとして独立。FMノースウエーブDJなどを経て2002年よりビジネスマナー・コミュニケーション講師として企業・各種学校等で活動				
対象学年	2　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンド・ステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
後期	新社会人生活を題材に、各種作法を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月17日	授業ガイダンス　/　学生と社会人の違い
2	10月24日	服装のマナー
3	10月31日	職場における電話対応、取り次ぎ方
4	11月7日	名刺交換について
5	11月14日	来客へのマナー
6	11月21日	上座と下座について
7	11月28日	ビジネス文書の作成
8	12月5日	冠婚葬祭のマナー
9	1月16日	テーブルマナーについて
10	1月23日	納税・各種保険・年金について
11	1月30日	先輩や上司との付き合い方
12	2月6日	報告・連絡・相談について
13	2月13日	社会人としての心構えについて
14	2月20日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）